

くらし部会（ショートステイ）進め方（案）

◎短期入所について各区の課題整理から上がっていること

- ・なぜとれないのか。
- ・量的に不足しているのではないか
- ・緊急時になぜ使えないのか
- ・医療ケアが必要な人の対応ができない
- ・身近な地域で対応できる体制はできないのか。
- ・軽い人が使えて、重い人が使えないのは良いのか。
- ・精神の短期入所は使いづらい。量的にも少ない。（もみの木寮のみ・・・）

↓

障害のある方と家族が、安心して身近な地域で生活をするために必要なサービス（短期入所）に使いづらさがある。この使いづらさの実態を明らかにし、使いづらさの改善に向けた協議を行う。

◎課題整理から深めていくべき事（テーマ分類）

～使いたい時に使えない（使いづらさの実態について）～

テーマ1：利用者・家族から見た使いづらさ・・・テーマ1

テーマ2：障害種別による利用ニーズと使いづらさ：（医療ケア・精神障害のニーズ・行動障害…）

テーマ3：事業者側から見た課題

テーマ4：現行制度・運用ルールとして

テーマ5：まとめ

テーマ1：利用者・家族へのインタビューを行う。ショートが必要な人はどのようなニーズなのか。

利用できなかった人はどのような対応でしのいでいるか。

→障害種別ごとに利用者・家族にインタビューする。

預けられれば良いわけではなく、サービスの質が信頼できないので預けられないこともある。

→利用頻度が高い利用者の生活のしづらさには、どのような傾向があるのか

→使いづらさの原因は何か。

テーマ2：障害種別による利用ニーズと使いづらさ

→医療ケアとの連携の課題

→訪問看護との関係、何がショートでできるのか。

→精神障害者のニーズ 行動障害がある方の使いづらさ等

テーマ3：各事業所へのヒアリングで、対応できている方の特性と、断られてしまっている人の特性を聞く。（課題整理シートだけでは実態が掴みきれないため）

テーマ4：利用の仕組みについての問題

→支給決定で一律に7日間支給は良いのか。

→足りない部分は量的に増やしていく必要がある。

→2か月前ルールは妥当なのか。高齢はどのように行っているのか。

テーマ5：ショートステイのあるべき場所、（仕組み）整備

→あんしん出来る場所や支援者

→利用者・家族が望む短期入所の形

部会構成メンバー（案）

ショートステイ施設職員（9施設）

訪問看護ステーション職員

相談支援事業所職員

※メンバーは、区協議会構成員等も含めて今後も調整の予定。

※当事者についても、御家族からの御意見を直接伺いたいため、部会構成メンバーとして構成するか、別途インタビュー形式でどうか、具体的な対応を検討する。

スケジュール

11月2日 準備会（メンバー集まり方向性を固める）

11月下旬 第1回 テーマ1

12月中旬 第2回 テーマ2

1月中旬 第3回 テーマ3

2月中旬 第4回 テーマ4

3月中旬 第5回 テーマ5

3月下旬 全体会にて 報告